



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,042	△14.8	75	△92.9	176	△83.2	58	△91.3
30年3月期第3四半期	8,260	11.4	1,051	191.5	1,048	154.9	663	209.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △163百万円(—%) 30年3月期第3四半期 998百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	4.14	—
30年3月期第3四半期	47.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	16,387	9,924	59.8
30年3月期	16,081	10,510	64.7

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,805百万円 30年3月期 10,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
31年3月期	—	15.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	4.5	1,600	6.0	1,600	14.2	950	9.5	67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	14,200,000株	30年3月期	14,200,000株
31年3月期3Q	184,621株	30年3月期	184,574株
31年3月期3Q	14,015,413株	30年3月期3Q	14,015,426株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や企業の設備投資も増加傾向にあり、景気は緩やかな回復基調となりました。また、海外経済においては米国における経済指標等が好調に推移する一方、米中間の貿易摩擦等、懸念材料が多く、先行きは不透明な状況が続いております。

なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第3四半期連結累計期間も引き続き増加傾向で推移しております。また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましても、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等、環境や省エネに配慮した自動車部品の製造・研究開発分野への投資が増加傾向にあります。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバラシングマシンと共に、研究開発用の各種電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、引き続き国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカーからの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車関連メーカーからの電気サーボモータ式振動試験機を中心に133億6千9百万円の受注（前年同四半期比47.6%増）を獲得いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高70億4千2百万円（前年同四半期比14.8%減）、営業利益7千5百万円（前年同四半期比92.9%減）、経常利益1億7千6百万円（前年同四半期比83.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5千8百万円（前年同四半期比91.3%減）となりました。

売上高につきましては、客先への出荷・検収が客先都合による納期変更などにより第3四半期から第4四半期にずれ込んだ案件が多くあったことから、前年同四半期と比較して減少しております。

利益面につきましては、当社グループの海外取引における主たる決済通貨である米ドルの為替相場が、円安ドル高に推移したため為替差益が発生したものの、減収による減益の影響や、役員報酬改定による増額や役員賞与支給により販管費が増加したことなどにより前年同四半期と比較して減少しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

国内及び海外向けシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が増加したものの、海外向けの電気サーボモータ式振動試験機や国内及び海外向けバランスングマシン全体の出荷・検収が、第4四半期にずれ込んだことにより減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	55億9千2百万円（前年同四半期比8.5%減）
経常利益	1億9千万円（前年同四半期比84.2%減）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	1億6千1百万円（前年同四半期比64.7%減）
経常損失	1億3百万円（前年同四半期は3千7百万円の損失）

〔米国〕

日系の大手自動車関連メーカーや米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	6億2百万円（前年同四半期比26.0%減）
経常損失	1千9百万円（前年同四半期は3千3百万円の損失）

〔韓国〕

韓国大手自動車関連メーカーへのシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が第4四半期にずれ込んだものの、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加したことや、当社グループからの製造委託が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	13億9千5百万円（前年同四半期比5.2%増）
経常利益	2億3千7百万円（前年同四半期比32.0%増）

〔中国〕

中国国内のタイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷・検収は増加したものの、自動車部品メーカーへのシャフト歪自動矯正機の出荷・検収は減少いたしました。また、販管費が減少いたしました。

その結果、売上高は減少したものの、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	4億3千7百万円（前年同四半期比20.5%減）
経常利益	9千3百万円（前年同四半期比1,539.8%増）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、163億8千7百万円（前連結会計年度末比3億6百万円増）となりました。これは、売上債権の回収や売上の減少により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比14億7千4百万円減）したものの、売上債権の回収などにより現金及び預金が増加（前連結会計年度末比4億3千4百万円増）したことや、第4四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比13億1千6百万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、64億6千3百万円（前連結会計年度末比8億9千2百万円増）となりました。これは、課税所得の減少や法人税等の納付などにより未払法人税等が減少（前連結会計年度末比2億8百万円減）したことや、保有する株式の時価下落などにより繰延税金負債が減少（前連結会計年度末比7千4百万円減）したものの、受注の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比3億8千2百万円増）したことや、短期運転資金の調達のため短期借入金が増加（前連結会計年度末比4億6千万円増）したこと、前受金が増加（前連結会計年度末比4億3千3百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、99億2千4百万円（前連結会計年度末比5億8千6百万円減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が減少したことにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比3億6千4百万円減）したことや、保有する株式の時価下落に伴いその他有価証券評価差額金が減少（前連結会計年度末比2億2百万円減）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成31年3月期の連結業績予想につきましては、粗利率の高い案件が第4四半期以降に集中していることや受注状況が好調であるものの、今後の外部要因等に伴う不確定要素があるため、現時点では前回の予想を据え置いております。今後修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868,953	4,303,891
受取手形及び売掛金	4,384,803	2,910,421
商品及び製品	204,371	145,850
仕掛品	1,502,354	2,818,818
原材料及び貯蔵品	565,807	582,859
その他	171,690	494,184
貸倒引当金	△6,669	△7,274
流動資産合計	10,691,309	11,248,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,462,538	2,459,587
機械装置及び運搬具	231,664	226,893
土地	1,308,286	1,307,987
リース資産	3,036	3,036
その他	238,032	264,062
減価償却累計額	△1,546,386	△1,599,483
有形固定資産合計	2,697,171	2,662,082
無形固定資産		
その他	54,564	54,809
無形固定資産合計	54,564	54,809
投資その他の資産		
投資有価証券	584,808	292,723
長期貸付金	12,938	11,230
繰延税金資産	79,630	66,091
保険積立金	1,739,986	1,730,708
その他	316,184	446,726
貸倒引当金	△95,187	△125,223
投資その他の資産合計	2,638,360	2,422,256
固定資産合計	5,390,096	5,139,148
資産合計	16,081,406	16,387,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,828,012	2,210,697
短期借入金	890,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	242,168	225,484
未払法人税等	262,251	53,717
賞与引当金	116,927	59,883
製品保証引当金	103,254	94,805
前受金	670,338	1,104,316
その他	320,776	375,837
流動負債合計	4,433,729	5,474,741
固定負債		
長期借入金	596,966	517,853
繰延税金負債	174,817	100,166
役員退職慰労引当金	133,176	139,536
退職給付に係る負債	220,491	219,538
資産除去債務	11,694	11,876
固定負債合計	1,137,144	988,970
負債合計	5,570,874	6,463,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,130,183	7,765,391
自己株式	△150,994	△151,034
株主資本合計	9,938,688	9,573,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366,805	164,094
為替換算調整勘定	105,803	67,443
その他の包括利益累計額合計	472,608	231,538
非支配株主持分	99,234	118,794
純資産合計	10,510,532	9,924,189
負債純資産合計	16,081,406	16,387,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	8,260,592	7,042,119
売上原価	5,291,091	4,576,418
売上総利益	2,969,501	2,465,701
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	68,871	43,760
貸倒引当金繰入額	—	30,797
役員報酬	121,932	245,446
給料手当及び賞与	554,993	614,666
役員賞与	—	200,000
賞与引当金繰入額	24,918	27,438
退職給付費用	17,921	18,802
役員退職慰労引当金繰入額	6,627	6,360
運賃	198,896	229,154
減価償却費	24,915	23,059
研究開発費	24,342	15,507
その他	874,671	935,548
販売費及び一般管理費合計	1,918,091	2,390,543
営業利益	1,051,410	75,158
営業外収益		
受取利息及び配当金	29,461	34,963
為替差益	11,875	70,841
貸倒引当金戻入額	30,447	—
その他	14,953	20,950
営業外収益合計	86,739	126,754
営業外費用		
支払利息	8,248	7,478
売上債権売却損	6,247	2,690
支払手数料	18,875	3,731
保険解約損	56,262	10,597
その他	241	1,378
営業外費用合計	89,874	25,875
経常利益	1,048,275	176,036
税金等調整前四半期純利益	1,048,275	176,036
法人税、住民税及び事業税	333,770	71,565
法人税等調整額	40,954	28,633
法人税等合計	374,725	100,199
四半期純利益	673,550	75,837
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,987	17,810
親会社株主に帰属する四半期純利益	663,562	58,026

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	673,550	75,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219,415	△202,710
為替換算調整勘定	105,856	△36,611
その他の包括利益合計	325,272	△239,321
四半期包括利益	998,822	△163,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985,206	△183,043
非支配株主に係る四半期包括利益	13,615	19,559

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	5,697,357	458,956	810,771	852,222	385,150	8,204,458	56,134	8,260,592
セグメント間の内部売上高又は振替高	415,778	—	2,365	473,634	165,606	1,057,385	58,921	1,116,306
計	6,113,135	458,956	813,136	1,325,857	550,756	9,261,843	115,055	9,376,899
セグメント利益又は損失(△)	1,205,288	△37,312	△33,615	179,863	5,711	1,319,935	25,549	1,345,484

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,319,935
「その他」の区分の利益	25,549
セグメント間取引消去等(注)	△297,209
四半期連結損益計算書の経常利益	1,048,275

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が334,227千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	5,307,920	152,958	592,023	583,586	329,176	6,965,665	76,454	7,042,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	284,407	8,900	10,086	811,548	108,574	1,223,518	48,023	1,271,542
計	5,592,328	161,858	602,109	1,395,135	437,751	8,189,183	124,478	8,313,661
セグメント利益又は損失(△)	190,607	△103,927	△19,878	237,449	93,654	397,905	39,288	437,194

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	397,905
「その他」の区分の利益	39,288
セグメント間取引消去等(注)	△261,157
四半期連結損益計算書の経常利益	176,036

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が280,283千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

区分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バラシシングマシン	4,326,102	△23.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,034,100	+14.9	日本(国際), 韓国
材料試験機	161,858	△64.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	641,154	+62.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	886,057	+7.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	7,049,271	△14.7	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

区 分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	8,240,578	+64.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	3,068,533	+50.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	272,274	△48.8	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	851,577	+58.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	936,218	+1.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	13,369,181	+47.6	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末(平成30年12月31日)

区 分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	7,982,909	+75.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	3,408,899	+72.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	176,905	△26.8	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	948,820	+32.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	139,642	+11.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	12,657,178	+66.3	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

区 分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	4,318,950	△24.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,034,101	+14.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	161,858	△64.7	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	641,152	+62.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	886,056	+7.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	7,042,119	△14.8	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。